ウクライナ戦争と欧州の安全保障

(トランプ2.0と日本の課題)

2025. 5. 27

前ポーランド大使、元トルコ大使 宮島 昭夫



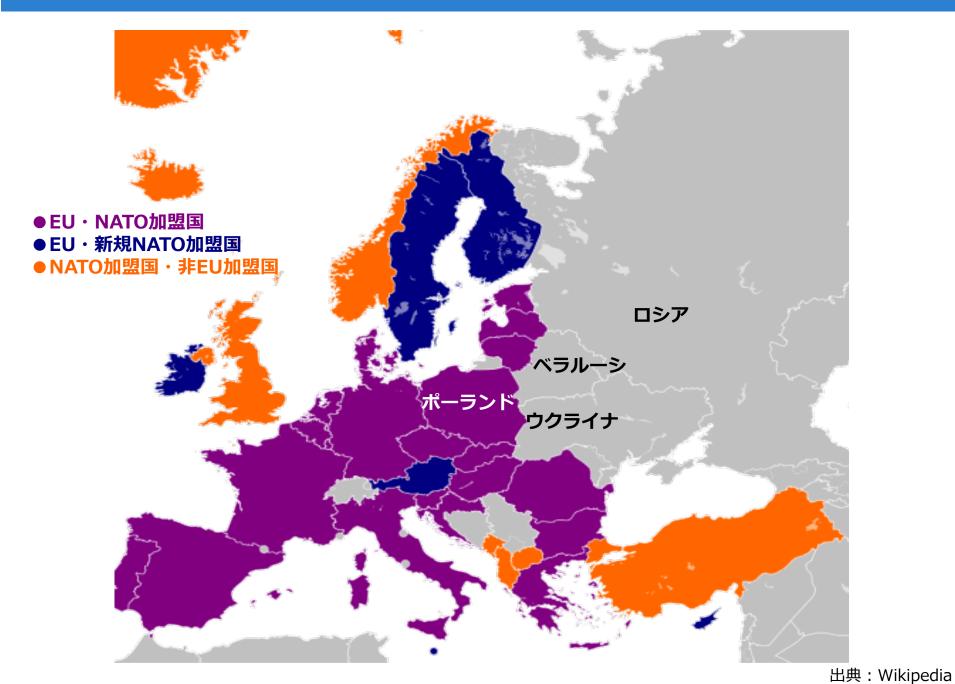








ポーランド=EU・NATOの東方フロントライン



ウクライナ戦争と世界

◎ウクライナ戦争で世界と欧州は変わった

核保有国・安保理常任理事国による、力または威嚇による一方的な現状変更 の試み

法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序・国連憲章の原則に対する挑戦



ポスト冷戦期の終焉

・岸田前首相 シャングリア・ダイアローグ 2022.6

「今日のウクライナは明日の東アジアかもしれない」

・石破総理 G7首脳会議 2025年2月24日オンライン

「アメリカをはじめとする様々な外交努力が実って、<u>平和が実現するに当たって、誤った教訓というものが導き出されないように、力による現状変更が可能であると、の教訓が引き出されないようにヨーロッパとインド太平洋の安全保障が一体不可分であること、</u>北朝鮮、ロシアと北朝鮮の軍事協力を非難。

<u>ウクライナにおいて公正かつ永続的な平和</u>の実現のため、今後とも<u>G7の</u> <u>結束が必要、ウクライナに対する支援、対露制裁を継続</u>していく。」

岸田総理のウクライナ・ポーランド訪問 (2023. 3.21-22)

ゼレンスキー大統領との会談 (2023年3月21日 於:キーウ)





ドゥダ大統領との会談 (2023年3月22日 於:ワルシャワ



モラヴィエツキ首相との会談 (2023年7月11日 於:ワルシャワ

G 7広島サミット (2023年5月)





欧州の中心に位置するポーランド



飛行機でのアクセス

〔約1時間半〕

(羽田〜札幌と同等)

- > ベルリン
- ▶ ウィーン
- ▶ ブダペスト
- ▶ タリン
- > コペンハーゲン

〔約2時間〕

(羽田〜福岡と同等)

- ▶ モスクワ
- ▶ アムステルダム

〔約2時間半〕

(羽田〜沖縄と同等)

- ▶ ロンドン
- トパリ
- ▶ イスタンブール

ポーランド

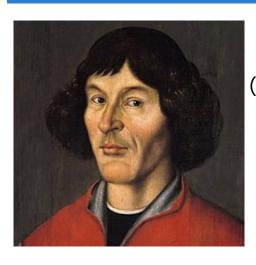








ポーランド人の誇り



コペルニクス (天文学者) (1473~1543年)



キュリー夫人 (ノーベル賞受賞者) (1867~1934年)

ヨハネ・パウロ2世 (ローマ教皇) (1920~2005年)



フリデリク・ショパン (作曲家) (1810~1849年)

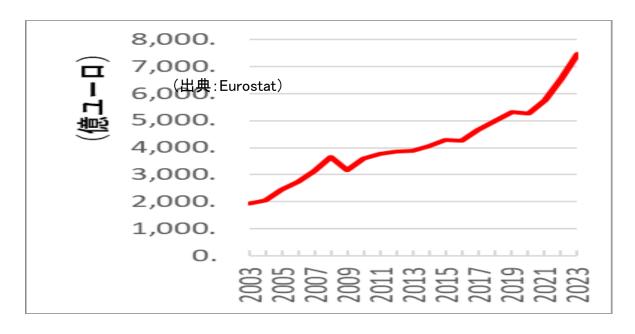


レフ・ワレサ元大統領 (1943年~)



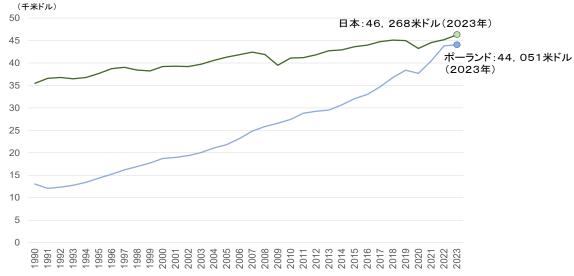
ポーランドのGDP推移

世界21位 (2023)



ポーランドと日本の一人あたり購買力平価GDP

GDP per capita, PPP (constant 2021 international \$) – Poland, Japan



一人あたりGDP (2023年 世銀統計)



ポーランド 22056. 7 ドル 50位

ウクライナ 5069. 7 ドル 112位

EU 議長国 ポーランド Security , Europe!

欧州の安全保障の強化

欧州防衛・国境、偽情報、エネルギー、経済、食料、健康







Security is our top priority. Relations with the USA, Canada, and Norway in terms of defense must remain at the forefront. Europe must show common sense, calm and responsibility. We have to take care of good relations with the US, while at the same time we must remain self-confident and united.

Donald Tusk
Polish Prime Minister

大統領選挙 (2025年5月18日、6月1日)

Poland — 2025 presidential election

Results in the first round of Poland's presidential election. Trzaskowski and Nawrocki placed for the second round of the election on June 1.





Leaders | Don't throw it away

How Poland can keep its place at the heart of Europe

If it turns inward, the country and continent will lose out

The Economist

UK-EU: No reset, but a start

America's assault on science

The man with a plan for Vietnam

Can Jamie Dimon create a \$1trn bank?

MAY 24TH-30TH 2025

The remarkable rise of



戦闘による人的被害・物的損耗

露軍:死者約19.8万人(ゼレンスキー大統領24.12.8)
 死者約20万人、負傷者役40満員(WSJ24.9.17)
 死傷者86万人(英国防省25.2.28)

・ウ軍:死者4.3万人(ゼレンスキー大統領24.12.8)
 死者約8万人、負傷者約40万人(WSJ24.9.17)

• ウ市民: 死者1万2854人以上、負傷者2万9392人以上 (UN25, 2, 21)

ウクライナ戦争の長期化

ウクライナの勇敢さ、G7や欧州(ハンガリー以外)の西側同志 国の結束(「自由で開かれた法の支配に基づく国際秩序」 ⇔ロシアの粘り強さ

⇒戦争は3年を超え、出口のないまま長期化。戦闘は膠着状態 ⇒蓄積する「疲れ」と膨大な損耗。 世界の関心の低下・分散 ガザの悲劇が1年半たっても継続。ダブルスタンダード・批判。

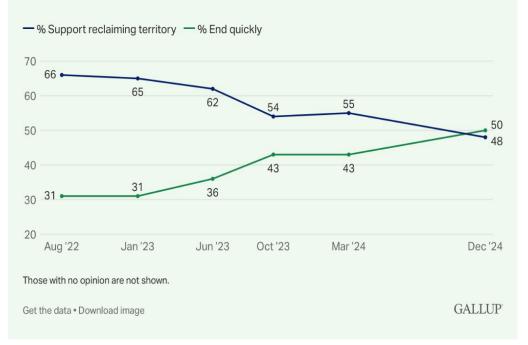
★そこに、トランプ2.0の衝撃

ウクライナの停戦・「平和」

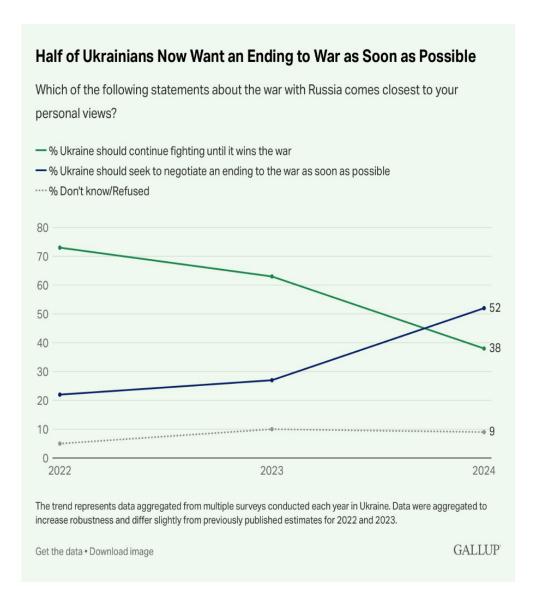
- ◎時はどちらに有利か?
- ◎停戦・和平の行方 いつ終わるか? どう終わるか?ウクライナの領土・主権(停戦ライン・被占領地域の扱い)安全の保証 NATO加盟、「有志連合」停戦監視部隊?EU加盟
- エストニア国防大臣 (2025.1)
 Just peace, Sustainable peace, Peace through strength
- ◎インド・太平洋の安保への影響

Fewer Americans Remain Committed to Supporting Ukraine Reclaiming Territory

Which would you prefer the U.S. to do in the Russia-Ukraine conflict -- try and end the conflict as quickly as possible, even if it means allowing Russia to keep territory it has captured from Ukraine, or support Ukraine in reclaiming territory Russia has captured, even if it results in a more prolonged conflict between the two nations?



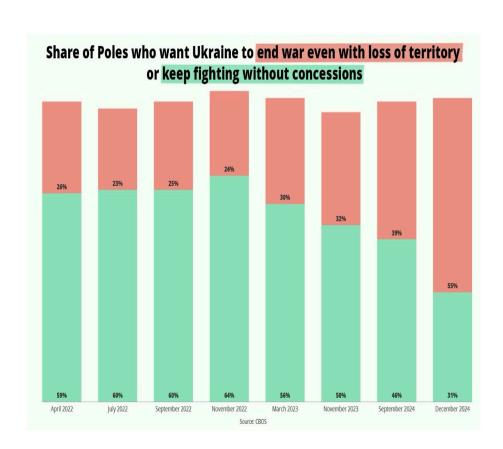
The recent increase in Americans' desire to hasten the end of the war is owed to a 20-point surge among Republicans (to 74%) and a nine-point rise among Democrats (to 30%) since March -- new highs for each group. At the same time, independents' current 47% preference for an expeditious conclusion to the war is statistically similar to March's 52%.



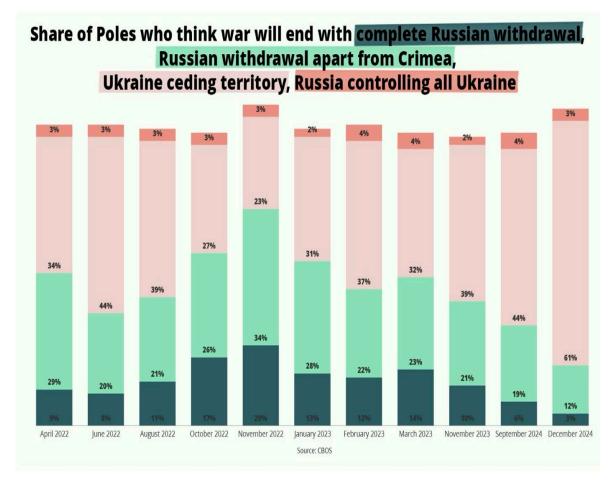
Ukrainians' current attitudes toward the war represent a decisive shift from where they stood after it began in late February 2022. Surveyed in the months after Russia launched its full-scale invasion, Ukrainians were defiant, with 73% preferring fighting until victory.

ウクライナ戦争(ポーランド国民世論) 2024.11, CBOS

「ウクライナは、領土や主権の一部を 諦めても、戦争を終結すべき」 (55%)



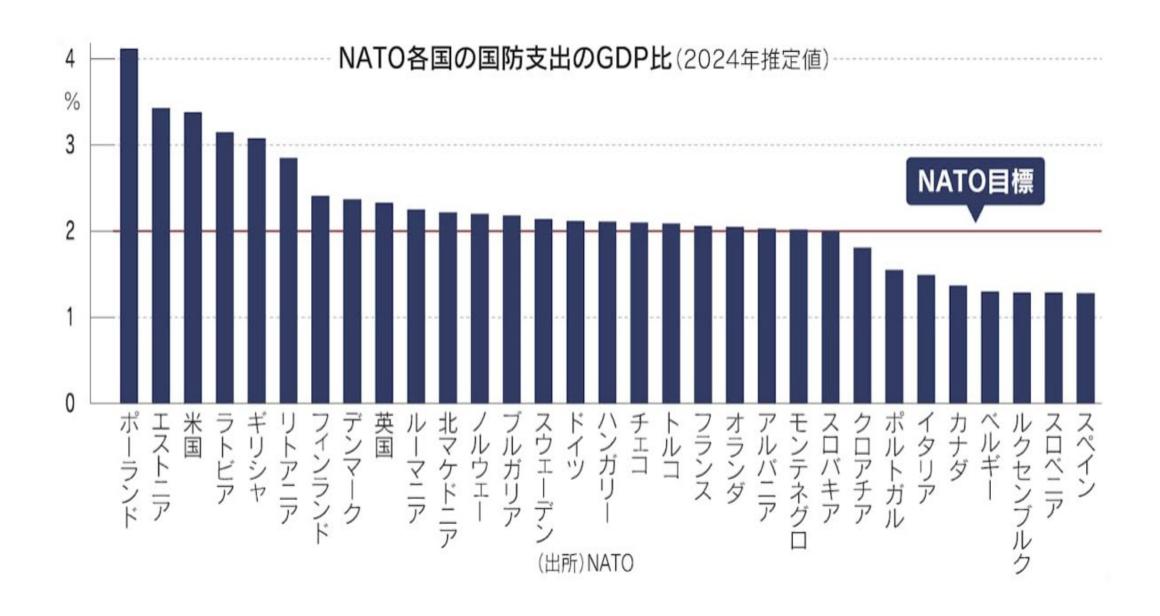
「ウクライナは領土の一部を失うだろう」 (61%)

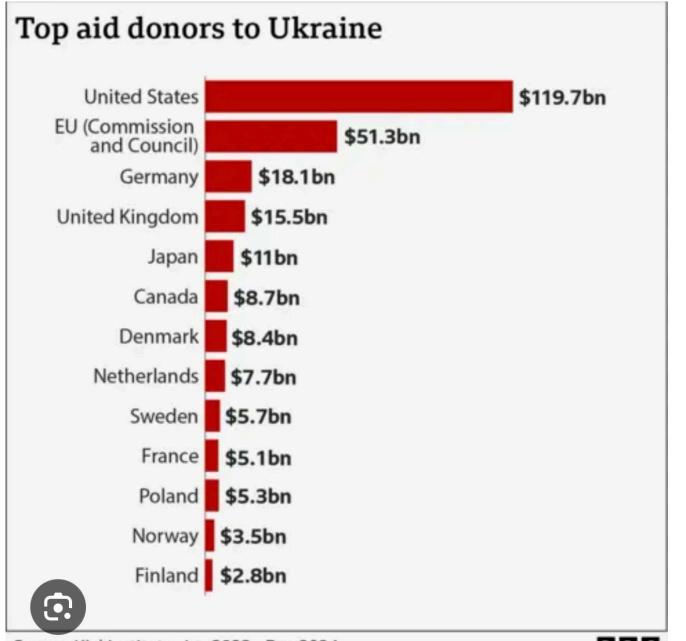


トランプ2.0

"America First" "Make America great again"
脱バイデン・反バイデン

不法移民・国境防護、マスク旋風・USAID解体パナマ・グリーンランド・カナダ「51番目の州に」・「アメリカ湾」安保ただ乗り批判・NATO各国防衛費対GDP比5%要求Peace Maker? ガザ(ハマス壊滅)、ウクライナの早期停戦同盟国も区別せず追加関税・自由貿易体制を軽視パリ条約脱退、「掘って掘りまくれ(Drill, Baby. Drill)」









E The Economist



ウクライナ戦争とトランプ

「自分が大統領ならば、戦争を24時間で終わらせることができる」 (2023年5月10日)

「バイデンが何もしなかったからロシアの侵攻を招いた。」(2024年6月27日 バイデンとのテレビ討論会)

★早期停戦の実現:ゼレンスキーを脅しプーチンを宥め、イースター(4月20日)までに(エネルギー施設攻撃30日停止⇒黒海での停戦⇒陸上の停戦ラインの確定をめざす)

★米国の権益の確保:軍事・経済支援の返済・見返り、ウクライナ鉱物資源 合意 KYRGYZSTAN

LAO PDR

KLEBANON

LITHUANIA

MALAWI

MALAYSIA

MALDIVES

MALI

MALTA

MEXICO

MONACO

X MONGOLIA

MICRONESIA...

MONTENEGRO

X LESOTHO

LIBERIA

KLIBYA

LATVIA

BUNITED KING...

X UNITED REP T.

BURUGUAY

■ VANUATU

VIET NAM

X UZBEKISTAN

VENEZUELA

UNITED STAT...

Item 5 - A/ES-11/L.10

Advancing a comprehensive, just and lasting peace in Ukraine KUWAIT

AFGHANISTAN CAMEROON ALBANIA CANADA **X**ALGERIA CENTRAL AF... ANDORRA X CHAD MANGOLA CHILE ANTIGUA-BA... X CHINA ARGENTINA COLOMBIA ARMENIA COMOROS AUSTRALIA CONGO AUSTRIA X COSTA RICA COTE D'IVOIRE KGUINEA AZERBAIJAN **ECROATIA** BAHAMAS

X BAHRAIN

BARBADOS

BELARUS

BELGIUM

BELIZE

BENIN

BHUTAN

BOLIVIA

BRAZIL

X BOTSWANA

BULGARIA

BURUNDI

CAMBODIA

CABO VERDE

BOSNIA-HER...

X CUBA **K** BANGLADESH CYPRUS CZECHIA

> DENMARK TUOBILO DOMINICA X DOMINICAN ... ECUADOR EGYPT

X EL SALVADOR

DEM PR OF K...

DEM REP OF ...

BRUNEI DAR... EQUATORIAL ... ERITREA BURKINA FASO MESTONIA ESWATINI

XETHIOPIA THE PERSON

FINLAND FRANCE **X**GABON

B GAMBIA GEORGIA GERMANY X GHANA **GREECE**

X GRENADA **■ GUATEMALA**

GUINEA-BISS... **GUYANA** HAITI

XHONDURAS HUNGARY

■ ICELAND XINDIA INDONESIA

IIRAN (ISLAMI... 🏙 MAURITIUS XIRAO

IRELAND ISRAEL

ITALY JAMAICA

BJAPAN JORDAN

KAZAKHSTAN KENYA **X**KIRIBATI

MOROCCO **EMYANMAR XNAMIBIA M**NAURU

■ NEPAL METHERLAN... **■NEW ZEALAND** ■ SERBIA

NICARAGUA NIGER MIGERIA

X NORTH MAC... NORWAY XOMAN LIECHTENSTEIN

PAKISTAN LUXEMBOURG PALAU MADAGASCAR **X PANAMA**

PAPUA NEW ... **X**PARAGUAY

■ PERU PHILIPPINES

■ POLAND MARSHALL IS... **PORTUGAL XQATAR** MAURITANIA

REP OF KOREA REP OF MOL ...

ROMANIA RUSSIAN FED...

X RWANDA

SAINT KITTS-... SAINT LUCIA

XMOZAMBIQUE XSAINT VINCE... SAMOA

SAN MARINO XSAO TOME-P... 🔀 SAUDI ARABIA 🚟 UKRAINE XUNITED ARA... × SENEGAL

SEYCHELLES

sierra Leone SINGAPORE M SLOVAKIA

SLOVENIA SOLOMON IS... **SOMALIA**

X SOUTH AFRICA YEMEN SOUTH SUDAN SPAIN

ZAMBIA × ZIMBABWE

SRI LANKA SUDAN **SURINAME** SWEDEN SWITZERLAND

X SYRIAN ARA... **X**TAJIKISTAN THAILAND

TIMOR-LESTE ▼ TOGO

TONGA TRINIDAD-TO... TUNISIA

TURKMENIST...

X TUVALU **TÜRKİYE XUGANDA**





・2月28日 トランプ・ゼレンスキ首脳会談

ウクライナ停戦とトランプ (クロノロジー)

- ・ 2月12日 トランプ・ゼレンスキ、トランプ・プーチン首脳電話会談
- 2月24日(軍事侵略3周年) 国連総会決議に米国棄権
- ・2月28日 トランプ・ゼレンスキ首脳会談⇒軍事支援・インテリジェンス一時停止
- 3月 4日 米国議会一般教書演説
- 3月11日 米ウクライナ高官協議(サウジアラビア)ウクライナは米国提案30日間停戦受け入れを表明。
- ・3月18日 トランプ・プーチン首脳電話会談
- ・3月19日 <u>トランプ・ゼレンスキ首脳電話会談</u> エネルギー施設攻撃30日間停止・黒海安全航行合意⇒不履行。
- ・4月17日 ロシア寄り米国和平案をウクライナ・欧州主要国に提示(パリ)
- ・4月26日 トランプ・ゼレンスキ首脳会談 (バチカン)
- ・4月30日 米ウクライナ鉱物資源協定署名
- ・5月 9日 対独戦勝記念日(モスクワ、習近平)
- ・5月 10日 英仏独ポーランド首脳キーウ訪問
- ・5月16日 米ウクライナ直接協議(イスタンブール)⇒捕虜交換
- ・5月19日 トランプ・プーチン首脳電話会談

米国和平案の要素(4月17日パリ会議。デイリーテレグラフ紙報道)

- · 即時停戦 · 直接対話
- ・ウクライナのNATO加盟を求めない。EU加盟の自由は認められる。
- ・<u>クリミアについてロシアの権利を認める。ウクライナのドネツク、ルハンシク、ヘルソン、ザポリージャ4州の前線を凍結</u>。ロシアはハルキウ州、ヘルソン州の特定地域から撤退。
- ・ザポリージャ原発は米国管理下に移管。・米国とウクライナは鉱物資源協定に署名する。
- ・<u>米国の対露制裁のすべてが解除</u>され、<u>米露両国はエネルギー・産業分野での協力を</u> 開始できる。

・ゼレンスキー大統領 4月22日 記者会見

「<u>ウクライナはクリミアの占領を法的に認めない</u>。私たちの憲法に反する。議論の余地はない

トランプ大統領 4月23日、SNS投稿

「ゼレンスキー発言はロシアとの和平交渉に極めて有害だ。」

「平和を選ぶか、3年間戦い続けた末に国土のすべてを失うかだ。ゼレンスキー発言はただ『殺戮の場』を延長するだけで、誰もそれを望んでいない」

「"手札のない男(ゼレンスキのこと)"は今こそ合意しなければならない。|

◎ロシアは23日夜、キーウを攻撃、少なくとも12人が死亡、87人が負傷

トランプ大統領 SNS投稿

「キーウに対するロシアの空爆に不満だ。ウラジーミル、止めよ。」



4月26日 トランプ・ゼレンスキ首脳会談 (バチカン)

5月19日 トランプ・プーチン電話会談後

トランプ大統領

「(今後何も起きなければ)<u>私はただ手を引くだけだ</u>。」 「これは私の戦争ではない。」

ロシア大統領府

「最も重要なのは、この危機の根本的な原因を排除することだ」



欧州の危機感・切迫感と米国依存脱却への動き

ウクライナ、NATO、追加関税

⇒戦後80年の国際秩序の危機(安保・自由貿易体制)

米国は「脅威」か? 「信頼できるパートナー」か?

「ロシアの脅威」 + 「トランプの脅威」 ⇔米国の力は圧倒的、関与・協力は不可欠

⇒欧州の結束か? 分裂か?

EU, NATO

独、仏、英、ポーランド

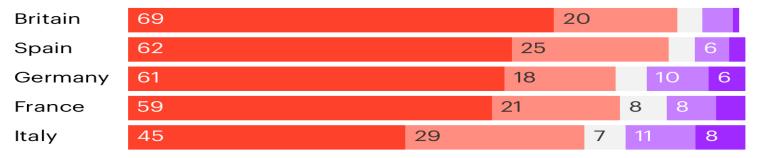
- ・ Make Europe great again? cf. ハーバード大学VSトランプ
- ★ 米国のde-risking cf. 中国
- ★ 米国をウクライナ・欧州にできるだけ長くつなぎとめ、最悪の事態にできるだけ 早く備える。

Western Europeans see Donald Trump as a big threat to peace and security in Europe

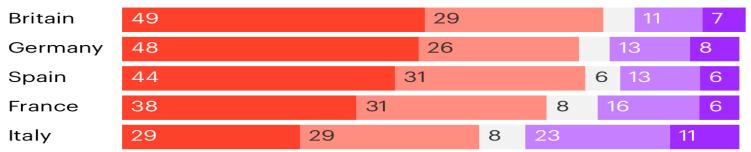
How big a threat to peace and security in Europe, if at all, do you consider each of the following to be? %



Vladimir Putin



Donald Trump









3/2 欧州ウクライナ首脳会議(ロンドン)



・5月 10日 英仏独ポーランド首脳キーウ訪問

米国抜きの対ウクライナ支援は可能か?

(欧州を相手にしようとしない)トランプによる早期停戦交渉にどう関与・対応するか? トランプが停戦交渉から手を引いたらどうするか?

(米国の不関与に備えた)ウクライナ軍事支援にどう対応するか? 停戦維持の枠組みとそれを担保する態勢を誰がどのように担うのか?

公正な永続的平和にどうつなげるのか?

対露制裁をどうするのか?

 \Rightarrow

- ・対口制裁維持・強化 2/24、5/20 EU第16弾・17弾の対露制裁 採択
- ・対ウクライナ軍事・財政支援の継続、有志国で?
- ・ウクライナのNATO加盟は追及しない。
- ・英仏主導の「有志連合」による「再保証」部隊Reassuring Force構想
- ・ウクライナのEU加盟交渉(EUとの統合・連結性)を加速

米国抜きのNATO(欧州の安全保障)?

どうやって欧州の安全保障を確保するか? 新たな負担に国民の支持が得られるか。間に合うのか?

- ・欧州国防白書・再軍備計画 (Readiness 2030) 1500億ドルのソフトローン・EU財政規則緩和・8000億ドル手当
- ⇒6月のNATOサミット、EUサミット (GDPの3. 5%をターゲットに)
- ・<u>独の</u>総選挙(CDU/CSU<u>メルツ首相、憲法改正</u>(GDP1%までは国 防費を債務ブレーキ対象外に<u>3/21</u>)
- ・欧州(仏マクロン)の核の傘
- ・ポーランドとバルト三国の切迫感(対人地雷、クラスター爆弾条約からの脱退検討)。国防費の増強(ポーランドは5%に)

欧州防衛白書 (Joint White Paper for European Defence) E U委員会 3月19日公表

- 「第二次大戦後、かつてない規模で国際秩序が激変し、米国の軸足がアジアに移りつつある」との認識に立って、「欧州の軍備を再構築する時が来た」「2030年までに対米依存の脱却と欧州防衛を強化する」
- 優先分野
- ▽防空・ミサイル防衛 ▽火砲・精密砲撃システム ▽弾薬ミサイル備蓄 ▽ドローン・対ドローンシステム ▽機動・輸送力(空中給油、衛星通信等)▽AI(人工知能)・サイバー電子戦能力 ▽重要インフラ防護
- ・ EU域内での共同・大量調達に向けて、欧州防衛産業市場の構築、サプライチェーンの確立、 投資の拡大
- ・対ウクライナ軍事支援強化(「ヤマアラシ」(porcupine戦略) 砲弾弾薬供給、防空、ドローン、要員訓練、ウクライナ防衛産業支援、 ウクライナとの軍事機動性向上

欧州再軍備計画 (ReArm Europe Plan /Readiness 2030) 3月20日 EU首脳会議了承

- ・EU全体で最大8000億ユーロの防衛費増額を可能に.
- ・安定成長協定の国家逃避条項適用により、各国は今後4年間で最大GDP比1.5%、EU加盟国全体で6500億ユーロの追加の防衛費増額を可能に。
- ・EU名義の債券発行で市場調達する資金を財源とするSAFE (Security Action for Europe)により、加盟国に最大1500億ユーロの融資を提供し、2030年までに本格的な軍備増強に取り組む。

欧州再軍備計画 (Rearm Europe Plan/Readiness 2030)

Releasing public funding for defence at national level

Need for Member States to invest more in defence Commission invites activation of the national escape clause under Stability and Growth Pact for 2025-2028 Possibility to unlock around EUR 650 billion of additional defence investment at national level

Security Action for Europe - SAFE: A new dedicated instrument

Guiding principles: Buy more Buy better Buy together Buy European

Objectives:

- up to EUR 150 billion raised on capital markets, backed by the EU budget
- long-maturity loans to support common procurement
- boost defence procurement of critical areas (e.g., ammunition and missiles, artillery systems, space, Al, cyber)
- support the European defence industry

Functioning:

- Involvement of at least 2 Member States, or 1 Member State willing to open its procurement to Ukraine or EFTA countries
- Procurement to buy from industries of EU, Ukraine or EEA-EFTA countries
- Procured products must have at least 65% of domestic content from those countries

Mobilising the European Investment Bank and private capital

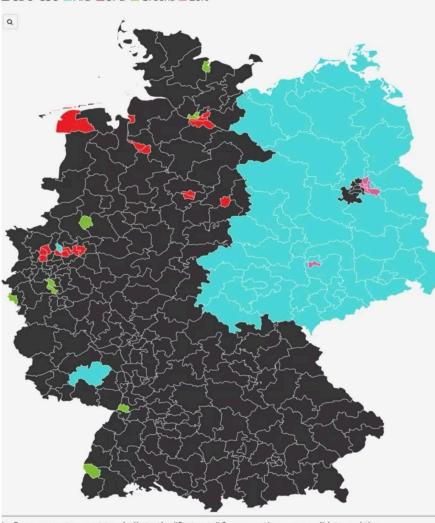
Increased contributions from the European Investment Bank to support defence and security projects

Improve access to financing for the defence industry Mobilise private capital through the Savings and Investments Union

German election results 2025

Leading party in second vote





In Germany, voters cast two ballots: the "first vote" for a constituency candidate and the "second vote" for a party. The second vote decides the proportion of seats each party will hold in the Bundestag Source: The Federal Returning Officer





4/2 米国「相互関税」、輸入自動車25%関税発動発表

第2次トランプ政権で発動した追加関税措置等一覧

対象品目 発動時期 2月 3月 4月 5月 7月 8月 相互関税 4/9発動 4/5発動 4/10~90日間 対象国原産品 上乗せした相互関税率 国・地域別に設定した 一律10%のベースライン関税・ の適用停止 一律10%の ※中国除く 相互関税率を上乗せ 国・地域別に設定した相互関税は、 ベースライン関税 鉄鋼・アルミ製品、自動車・同部品、 を上乗せ 相互関税 米国政府設定の対象外品目へは上乗せなし 対象外国 原産品 5/2発動 2/4発動 4/12発動 5/14発動 3/3発動 4/5発動 5/14~90日間 125%の 34%^ デミニミス 一律10%の 相互関税34%中 10%の 10%ഗ 相互関税上乗せ 相互関税引き下げ ルールの ベースライン 関税上乗せ 関税上乗せ 24%分の適用停止 原産品 ※ベースライン関税 ※ベースライン関税 適用停止 関税を上乗せ 10%含む 10%含む ベネズエラ産原油 4/2以降 国務長官の判断で 石油製品 25%の関税上乗せ 輸入国の原産品 3/4発動 3/7発動 4/29発表 5/3発動 ***** ※3/4より 25%の関税上乗せ 追 USMCA原産地規則を 遡って適用 (注) カナダ産エネルギー・ 自動車部品へ 加 原産品 満たす製品の適用除外 資源品目は10% 25%の関税上乗せ 関 ※USMCA原産地規則を 4/3発動 4月3日以降に米国で組み立てられた自動車で 自動車・ 満たす自動車部品は စ 自動車へ25%の 希望小売価格の15%を占める部品に追加関税が課された場合 上乗せ免除 累 同部品 関税上乗せ 希望小売価格の3.75%に相当する輸入調整相殺額を申請可能 積 停 4/4発動 3/12発動 鉄鋼・ 止 アルミ缶と缶ビールを アルミ製品の関税上乗せを10%→25%へ引き上げ、 アルミ製品 関税上乗せ対象となる鉄鋼・アルミ派生品の対象品目追加 関税上乗せ対象に追加

(注) 2025年5月14日時点、青掛け項目は1962年通商拡大法232条、緑掛け項目は国際緊急経済権限法(IEEPA)を根拠法に発動

トランプ追加関税とEU

2月2日 E U 委員会「断固たる相応の措置」検討表明

2月に各国に先駆けて対米交渉開始、シェフチョビッチ欧州委員(通商担当)

工業製品でゼロ対ゼロ関税を提案。アメリカの措置への対抗策としてWTO=世界貿易機関への申し立てを行う準備を進めつつ、TPP=環太平洋パートナーシップ協定との協力についても日本側と協議4月9日 鉄鋼・アルミニウム製品25%関税に対し最大210億ユーロ(約3兆3000億円)規模の報復措置決定(3月12日発表、4月15日第一弾発動)トウモロコシ、小麦、鶏肉、二輪車、衣類

4月10日 90日間の発動一時停止

5月8日 自動車・相互関税に対する1000億ユーロ(約16兆円)規模の報復措置発表。自動車、自動車部品、航空機、鉄スクラップ、バーボンウィスキー

<u>5月23日 トランプ大統領、6月1日からEUに50%追加関税かけると警告</u>

「EUの強力な貿易障壁や付加価値税(VAT)、企業へのばかげた罰則、非関税貿易障壁、通貨操作、米国企業に対する不当で根拠のない訴訟などによって、米国の貿易赤字は年間2億5000万ドル(約356億円)を超える規模に膨らんでいる。この数字は到底容認できない」

トランプ2.0と世界 最近の動き

4/17 ロシア寄りのウクライナ和平案を欧州・ウクライナ側に提示 4/20 イースター、4/21 ローマ教皇死去 4/29 トランプ就任100日目 4/30 米ウクライナ鉱物合意署名 5/7 独メルツ政権始動 5/8 新教皇レオ14世即位, 米英貿易合意 5/9 対独戦勝記念日(モスクワ、習近平) 5/10 英仏独ポーランド首脳キーウ訪問 5/14 米中関税115%引き下げ(追加関税90日停止) 5/13 トランプ湾岸歴訪(サウジ、カタール、UAE 5/16まで) 米ウクライナ直接協議(イスタンブール) 5/16 5/19 英EU首脳会議 5/19 米露首脳電話会議 5/20 E U 第17次対露制裁 5/23 米国 6月1日から対 E U 50%追加関税?⇒7月9日まで延期

<今後の主要日程>

6/1- 米国対EU50%追加関税??

6/17-19 G7サミット(カナダ、カナナキス) 日米首脳会議

6/24-25 NATOサミット (ハーグ) 日豪 N Z 韓国も参加

6/26-27 EU首脳会議(ブラッセル)

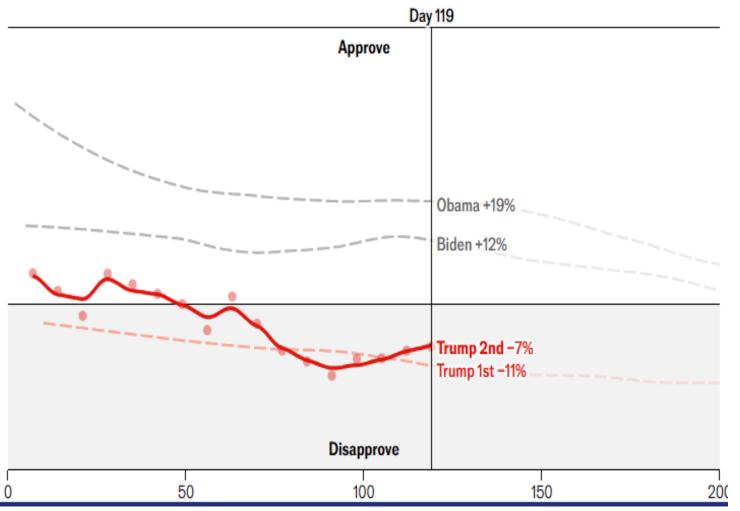
7月 中EU首脳会議(北京) 日EU首脳会議

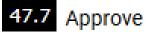
7月初め (中国以外) 相互関税一時停止期限、対E U 50%追加関税期限 8月半ば 対中相互関税一時停止期限

★ 2026年11月3日 米国中間選挙

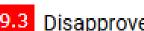
43% Approve 50% Disapprove 6% Don't know

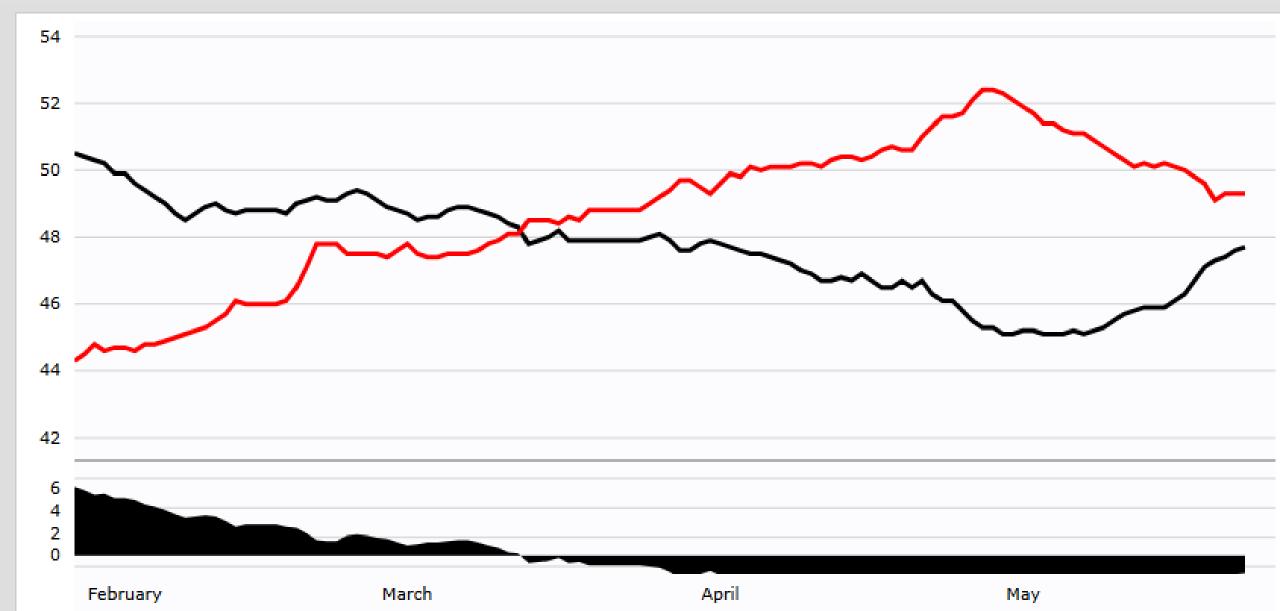
Net approval rating, % points





49.3 Disapprove +1.6

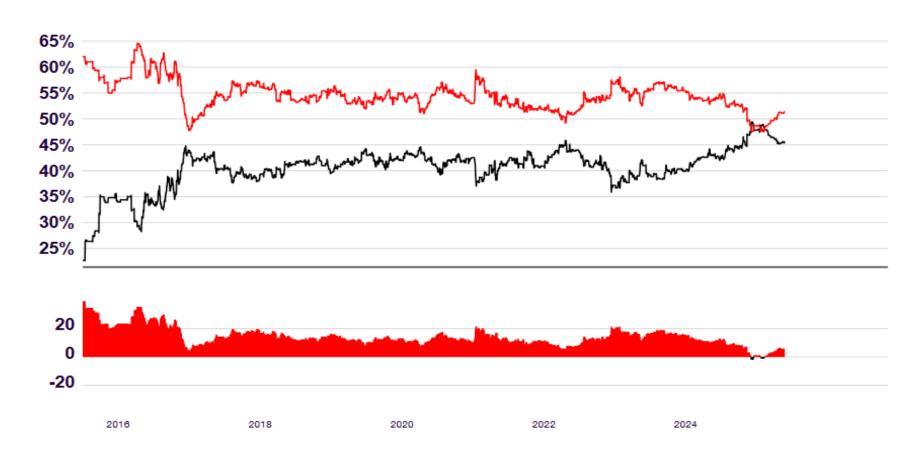


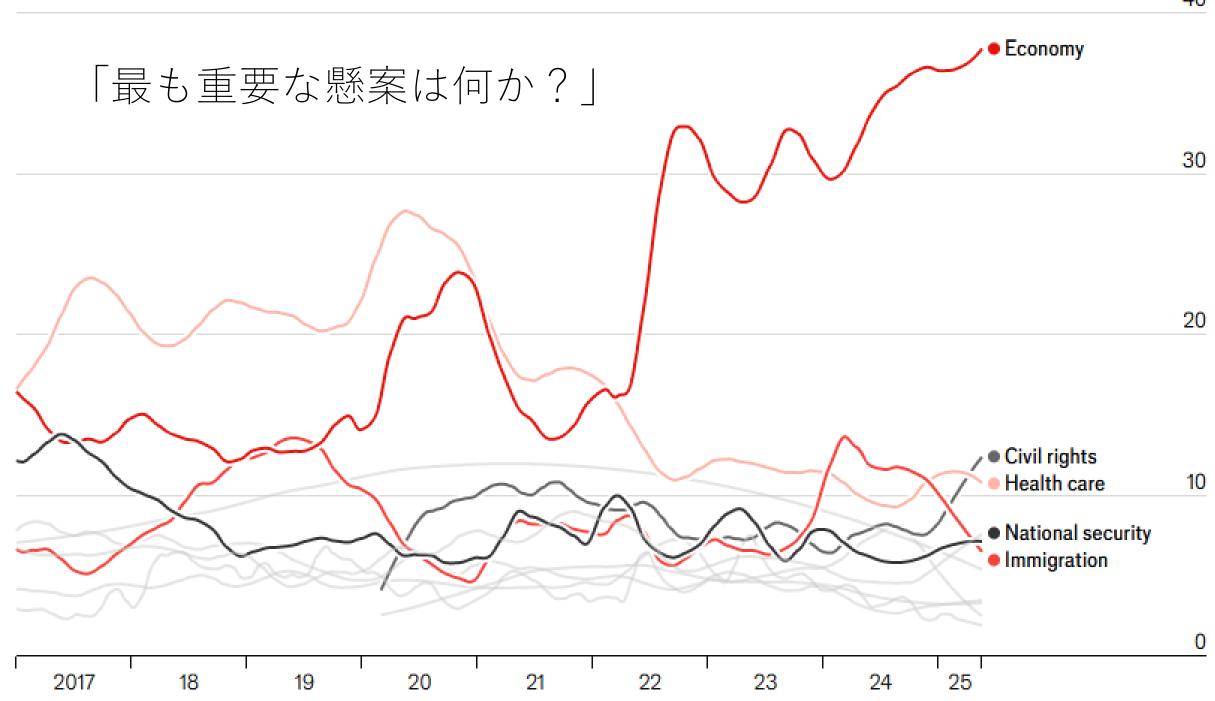




Trump: Favorable/Unfavorable







4つのシナリオ

① トランプ2. 0の「成功」

② 絶え間ない変動と不確実性

③ トランプ2. 0の「失敗」

4 大混乱・紛争激化

日本の課題

- ウクライナ戦争、トランプ2.0
- ⇒戦後80年の国際秩序:安保体制・自由貿易体制の危機
- ・米国の行方 volatility, uncertainty, credibility crisis
- ★ 米国や「仲間」と共に、「新たな世界」で、いかに日本の平和と繁栄を図るか?
- ◎日本は、米国にとって、アジアで最も信頼できるベスト・パートナー。
- **★** ピンチをチャンスに! したたかに生きていく覚悟と行動を。
- ★ Make Japan Great Again! リスクに備えると共に国力を増進

ウクライナ戦争の教訓は何か? 何を学ぶか?

★★ 自ら戦い守り続けてこそ、同盟国・友好国は支援する

- <u>同盟国・同志国の結束・連携は不可欠</u> ←欧州とインド太平洋の安全保障は不可分
- インテリジェンス、偽情報、サイバー、ドローン、AI

○ 不測の事態に常に備える:抑止力の強化、情報収集能力と即応力の強化、持久力の整備、レジリアンスの強化・体制の整備(エネルギー安保、サプライチェーン脆弱性の克服など)

★日米同盟の強化・深化、抑止力強化/中国との対話

★「トランプの米国」はチャレンジと新たな変革への チャンス (AI、エネルギー等)、米国のバイタリティやinnovativeなソフトパワーは依然 として断トツ

★仲間づくり、対話・協力の強化は急務 欧州(EU、NATO、英、仏、独、ポーランド) QUAD(日米豪印)、日米韓、比はじめ東南アジア カナダ、ブラジル、太平洋島しょ国、アフリカ

★ウクライナ:いったん停戦になれば、いよいよ日本の出番。 復旧・復興。人材育成。民間ビジネスも。ポーランドとトルコの企業はベストパートナー

★日本の強み:テクノロジーと文化力 大阪・関西万博はビッグ・チャンス

- ◎ 『困ったときの友は真の友』
 『情けはひとのためならず』(「忘恩の民」になるまじ)
 - ・「311」(2011、「絆」、「あの日を忘れない」)
 - ・エルトゥールル号(1890)
 - ・テヘラン邦人救出(1985. 3/19)
 - ・日本赤十字によるシベリア人孤児救出(1918-20)

ポーランド、トルコ 親日国、まだまだ伸びしろあり。

○ ウクライナを見捨てない







